

SABO NEWS LETTER

第 113 号【発行日】平成 24 年 12 月 26 日（水）【発行】(社)全国治水砂防協会

目 次

1. 目次・行事予定 1
2. 国土交通省砂防部長より年末のご挨拶 2
3. (社)全国治水砂防協会理事長より年末のご挨拶 3
4. (社)全国治水砂防協会平成 25 年主要行事予定表 4

行 事 予 定

(全国治水砂防協会)

2/21 ~ 22 第 53 回砂防および地すべり防止講習会 (砂防会館別館 利根会議室)

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

国土交通省砂防部長より年末のご挨拶

会員の皆様へ

会員の皆様におかれましては、変化が激しく見通しのつきにくい昨今にあつて、管内では地域における様々な課題に対応されるなど、お忙しく過ごされたこととお察し申し上げます。

そういう中にあつても、年末を迎え残りの日数も僅かとなった今、改めて本年を振り返ると、多難な年を切り抜けて少しずつでも未来に向けた礎を築くことができたという手応えをお持ちの方もおられることと思います。

今年も 800 件を超える土砂災害が発生し、全国各地に被害をもたらしました。昨年の災害箇所での工事が本格化してきた 2 月以降、5 月頃までは積雪地域において融雪地すべりが多発し、その後 6 月からは梅雨前線に伴う豪雨により九州を中心に甚大な被害が発生するなど、長期間に広い地域で災害が発生したことが本年の特徴と感じております。これらを受けて 12 月までに 50 箇所ですべて災害関連緊急事業が採択される等、現在も多くの箇所ですべて鋭意対策を進めております。被害にあわれました会員の皆様には心からお見舞い申しあげます。私どもも皆様とともに、これらの地域に住む方々に一刻も早く安全安心な生活を取り戻して頂きますよう、全力を尽くす所存です。

さて、今年には旧建設省（現国土交通省）に昭和 37 年に砂防部が設立されてから 50 年という節目の年でした。

発足当時は 1 課 26 名体制でしたが、まもなく急傾斜地の崩壊対策に着手し昭和 49 年に傾斜地保全課が設立され、その後も雪崩災害、火山噴火や地震に起因する土砂災害、そして最近では深層崩壊にも挑み、これらの災害に応じた専門性の高い係を設置するなど体制の充実を図ってきた結果、本年 4 月には 2 課 3 室で 60 名を超える組織となりました。多様な災害現象に対し社会的ニーズに応じて技術や制度を発展させ、皆様方の困り事に柔軟に対応できるように努めてきたことが今の砂防部の姿となっていると感じております。

とはいうものの、会員の皆様から見るとまだまだ力不足・努力不足に感じられていることもあろうかと思えます。

砂防部と致しましては、協会会員の皆様の声を真摯に受け止めて土砂災害に対する地域の安全性の確保を目指すとともに、国土保全の原点に立ち返り、例えば里山砂防のような地域の維持・活性化をしっかりと包含した事業展開を今後さらに推進するよう努めてまいりたいと考えております。

この一年、皆様に大変お世話になりましたことに心より感謝申し上げますとともに、これから来る年が皆様にとって大きな発展の年になりますよう祈念申し上げます、年末のご挨拶とさせていただきます。

(社) 全国治水砂防協会理事長より年末のご挨拶

平成 24 年は、年末 12 月 16 日に行われた第 46 回総選挙の興奮の余韻を残しながら暮れようとしています。総選挙の結果は、国民生活に大きな影響を与えますが、地域に安全と安心をもたらす砂防事業は政権に左右されてはいけない根幹的な施策であります。

平成 24 年も、3 月に発生した新潟県上越市国川こくがわの地すべり災害に代表されるように融雪による災害から始まりました。そして、7 月には九州北部の福岡、大分、熊本県を中心に土砂災害が多発し 24 名の死者・行方不明者を出しました。被災地の一日も早い復旧・復興を願っています。

昨年改正された「土砂災害防止法」に則り新潟県が行った国川地すべりの緊急調査による的確な情報は、上越市に提供され、地元住民の避難等に大いに資するとともに、国との共同による緊急対策も心強いものでありました。また、国においては、この国川の例のように、土砂災害が発生した現場において、各研究機関の専門家を派遣され、状況の把握および今後の対応についての技術指導や自衛隊並びに消防などの救出活動時における山腹崩壊等による二次被害防止についての技術指導を実施されました。突発的に発生する土砂災害への対応経験が決定的に不足している市町村にとって大変有難いことであり、感謝に堪えません。24 年度は現在まで 32 件、延べ 77 名の派遣があったと聞いています。このことからでも、国土交通省の出先機関の廃止はあり得ないことでもあります。

今年は初めての試みとして、11 月 1～3 日の日程で砂防現地視察と現地討論会を開催しました。今回は、昨年 9 月の台風 12 号がもたらした豪雨により、大規模な深層崩壊や土石流が多発した、和歌山県と奈良県を訪れました。北は秋田県から、南は沖縄県までの各地の市町村長や副町村長と、近畿地方整備局紀伊山地砂防事務所、地元の和歌山県・奈良県の職員の方々に加え、被災された市町村長そして京都大学の藤田正治教授に参加していただきました。

この 3 日間を通じて、現地ならではの衝撃的なインパクトがあったことと、実際に被災されて、対応に当たられた市町村長からの生のお話を伺えたことは、参加者全員にとって貴重な体験となったと思われまます。今回初めて実施した視察・討論会ですが、今後も継続して開催し、全国の多くの市町村長さん方に土砂災害の実態を体験していただき、情報を共有することにより地域での防災対策に役立てていただければ幸いです。(詳細は「砂防と治水 vol.210」2012 年 12 月号に掲載)

皆様におかれましては、良いお年をお迎えくださるよう祈念して、年末のご挨拶とさせていただきます。

(社) 全国治水砂防協会理事長 岡本正男

平成25年主要行事予定表

2月20日(水)16時～	各支部事務局員会議	於；別館3階穂高会議室
2月21日(木)～22日(金)	第53回砂防および地すべり防止講習会	於；別館1階シェンハッハ・サホー利根会議室
2月28日(木)15時30分～	会長表彰選考委員会	於；本館中二階特別会議室
同 16時～	理事會	於；別館3階霧島会議室
5月9日(木)11時～	監事會	於；本館中二階特別会議室
同 13時～	理事會	於；別館3階霧島会議室
5月21日(火)11時～	評議員會	於；別館3階六甲会議室
同 12時～	代表參與會	於；本館中二階特別会議室
同 14時30分～	參與會	於；別館3階穂高会議室
同 16時～	直轄事務所長連絡會	於；別館3階立山會議室
同 16時30分～	賛助会員情報連絡會議	於；別館3階霧島會議室
5月22日(水)11時～	第77回通常總會	於；別館1階シェンハッハ・サホー利根會議室
7月24日(水)11時～	第1回理事・顧問會議	於；別館3階霧島會議室
10月30日(水)16時～	第2回理事・顧問會議	於；別館3階霧島會議室
11月18日(月)11時30分～	代表參與會	於；本館中二階特別會議室
同 14時30分～	參與會	於；別館3階穂高會議室
同 16時～	賛助会員情報連絡會議	於；別館3階霧島會議室
同 16時30分～	直轄事務所長連絡會	於；別館3階立山會議室
11月19日(火)11時～	土砂災害から人命と地域を守る砂防會議	於；別館1階シェンハッハ・サホー利根會議室
11月 下旬	赤木正雄顕彰事業表彰選考委員会	於；本館中二階特別會議室